

NEWS LETTER



京都教育大学
附属教育実践センター機構
教育支援センター

Kyoto University of Education
Organization of Educational Research and Practice Centers
Educational Support Center

第29号(2016.5.30)

<http://cert.kyokyo-u.ac.jp/>

新任職員の紹介について

丸山 あけみ (ボランティアオフィス 事務補佐員)

本年度4月より学生ボランティアオフィス担当になりました。最近の若い人は…きちんと丁寧にあいさつされますし、本学の大学生は…実によく勉強するし、部活もアルバイトもしつつ、ボランティアにも積極的になれるなんて…と内心驚きを隠せないでいます。貴重な空き時間を利用して、雨の日でも、息を切らしながら扉をノックして入ってきてくれる学生には頭を下げて見送ります。母校でボランティア活動をしたいという学生の声を聴いて、先方の先生はとても喜んで受け入れてくださいますし、「去年行ったのですが、今年もよろしく」とお電話をさせていただきますと、先生も「どうぞどうぞ」と声を弾ませて対応してくださいます。このステキな関係を横目で見ながら、元気づけられています。やはり1年でも教育現場を経験された学生さんは、声にも自信が出てきていますし、教員になったときも堂々と児童、生徒と向き合われるのではないのでしょうか。今年初めて活動する学生さんにもこの”経験“という自分だけの宝を得てほしいと思います。私もまだまだ“1回生”。学内の場所などがまだわからず、微妙な傾斜の坂を走り回っていますが、皆さまどうぞよろしくご指導くださいますよう、よろしくお願い致します。

柴田 篤志 (運動部活動支援室 教務補佐員)

今年度から学校運動部活動指導者育成事業の教務補佐を担当させていただくことになりました、柴田です。

学校運動部活動指導者育成事業は京都教育大学独自のプログラムであり、学生にとって体育・スポーツ指導の現場を知り、実践的な指導力などを身に付けることができる貴重なものです。本事業を通してより多くの学生が教育現場に出た際に、自信を持って体育・スポーツ指導に携わり活躍することができるようにサポートしていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

基礎セミナー「教師への道」について

このセミナーは、学生が本学に入學してきた動機を改めて振り返るとともに、4年後の自分自身の進路を見据えて、これからの大学生活をいかに有意義に過ごしていくかをイメージするために行っています。内容としては、教職に関する基礎知識として、教師の仕事とはどういうものか、つまり、それぞれの校種の特徴や仕事内容、教師に必要とされる資質能力などを知り、さらにグループワークを通して、その魅力ややりがいなどについて具体的に考えていきます。また、最近の教員採用試験の動向を知ることで、今後教師を目指す者への道標にもなるように考えています。

平成27年度 スクールボランティア活動についての報告

4月のオリエンテーションで全学生を対象にボランティア活動の説明を行いました。

ボランティア活動をしようと思う学生は、教育支援センターの『ボランティアオフィス』で登録を行います。平成27年度の登録者数は321人でした。ボランティア活動を行った学校園は102校園で、主な活動は、担任補助や学習、放課後学習の補助などです。京都市内での活動が多いですが、京都府下や大阪、神戸、滋賀県などでボランティアを行う学生もいます。

また、学生の自主的なスクールボランティアの取り組みとして「ありんこクラブ」「てんとうむしクラブ」があります。「ありんこクラブ」は京都市立竹田小学校、「てんとうむしクラブ」は京都市立南大内小学校で行っています。低学年の子どもたちを対象に学校内での遊びや校外活動に関わり、月1回土曜日の活動に向けて学生が事前にプランニングをし、活動後にミーティングを行うことで、次の活動に生かしています。

「ありんこクラブ」の活動は、①体育館遊び（ヨーヨー作り）②火打形公園 ③青少年科学センター ④梅小路公園 ⑤京都市市民防災センター ⑥体育館遊び で、それぞれの活動に6人から19人の学生が関わっています。

「てんとうむしクラブ」の活動は、①梅小路公園 ②青少年科学センター ③京都市市民防災センター ④北堀公園 ⑤嵐山まで遠足 で、それぞれの活動に14人から25人の学生が関わっています。

ボランティア活動の中には中学生を対象としたものもあり、1つ目は大学見学に訪れた中学生の構内案内です。京都府・市の中学校が主な対象ですが、他府県の中学生も大学見学に訪れています。キャリア教育のために訪れる学校が多いですが、中には大学生が周囲にあまりいない環境なので大学の魅力を知らせたいという意図で来られる学校もあり、131人の中学生が大学見学に訪れました。ボランティアを引き受けてくれた学生は延べ25人です。2つ目は、夏休みに行う京都市立凌風中学校のリーダー講習会です。凌風学園生徒会の生徒30人が大学を訪れ「誇れる学園を作ろう~校歌を中心に~」というテーマで、講義を聞いたり討論したりワークショップをしたりと朝から夕方までの講習会です。学生たちは、アイスブレイキングを指導したり生徒のグループに入ってアドバイスしたりして一日中、中学生と活動を共にしました。このように、学生主体の活動をスクールボランティア活動に多く取り入れています。これらの活動を経験した学生が実習から帰ってきた時「実習はとても楽しかった」という意見がよく聞かれます。これは、自分で経験したり先輩から学んだりすることで子どもたちとの関わり方が自然に身についていくのだと考えています。



幼児教育専攻学生による board deco



3月終わりから4月にかけては、「おめでとう」と卒業と入学を祝ってくれた動物たち。4月末からは鯉のぼりに乗って、空中遊泳を楽しむ動物たち。季節感あふれる学生たちの貼り絵を、機構棟でご覧下さい。機構棟玄関正面にあるホワイトボードです。

教育支援センター

センター長／モラル・人権意識向上教育部門	関口 久志	075-644-8326	sekihisa@
教育実践連携部門	樋口とみ子	075-644-8337	tomiko@
実地教育部門／就職・キャリア支援部門	西井 薫	075-644-8806	kaoru@
実地教育部門／就職・キャリア支援部門	岡田 敏之	075-644-8214	okada@
実地教育部門／就職・キャリア支援部門	今野 勝明	075-644-8216	konno@
実地教育部門（兼任）	小山 宏之	075-644-8281	koyama@
ボランティアオフィス	075-644-8336	(月・水 10時30分～13時30分、木 10時30分～14時30分) sien@	
運動部活動指導者育成室	075-644-8143	(火 9時～12時、水・木 9時30分～16時30分) bukatsu@	
事務担当：研究協力・附属学校支援課 研究協力・センター機構支援グループ kenshien@			

TEL 075-644-8335、8242 FAX 075-644-8339 E-mail cert@

